

会 議 録

- 期 日 令和7年6月9日（月）9時00分～9時20分
- 場 所 湖西市防災センター 2階会議室
- 会議内容 湖西市交通安全対策委員会（令和7年度夏の交通安全県民運動）

1 開会

2 委員長あいさつ（湖西市長）

- ・ 県議時代、交通安全においては、歩道や交差点の新設など、ハード系の対策をしてきた。市長になり、皆様に取り組んでいただいているソフト系の対策の重要性について再認識した。
- ・ 事故は起こしてはいけない、起きてはいけないと思っているので、皆様のお力をお借りしたい。

3 湖西警察署長あいさつ

- ・ 県下では、今年初めに交通死亡事故が多発したため、死者数は前年より増加、人身事故の発生件数、負傷者数は減少。
- ・ 湖西署管内では、死者数0人、人身事故発生件数、負傷者数共に前年より減少。
- ・ 飲酒運転が原因のトラック横転事故の発生、糖尿病による低血糖で意識が遠のき、正面衝突する事故の発生などの事案が湖西署管内でもあり、ひとつひとつを検証すると、まだまだ対策は必要である。
- ・ 湖西市の令和7年の人身事故発生件数は6月8日時点で71件。第一当事者（事故の一番の起因になった人）を年代別にみると、今までは高齢者が多いと認識されていたが、65歳以上の高齢者が17件、40代も同じく17件。
- ・ 誰もが交通ルールを守り、誰もが譲り合い運転をすれば、交通事故をなくすことは簡単。しかし、事故が起こってしまうということは、どこかで欠けている部分がある。
- ・ 交通安全の要諦は、交通安全や交通マナーなどに対して意識を持つこと。
- ・ 今回実施する夏の交通安全運動での意識啓発は非常に重要である。皆様にご協力いただきたい。

4 議題

・ 第1号議案

「春の全国交通安全運動」湖西市実施計画について報告。各委員了承。

・ 第2号議案

今年度の委員会の開催方法について報告。

秋・来年度春に係る運動についての委員会は書面にて開催する。各委員了承。

(質疑・意見)

(湖西地区安全運転管理協会長)

小中高生が自転車利用時にヘルメットを着用していないところや、歩道内でスピードを出して走行しているところをよく目撃する。学校ではどのように指導しているのか。

(教育長)

小中学校では、ルールとして自転車利用時は必ずヘルメットを着用するよう指導している。改めて注意喚起を行う。走行時の歩道と車道の関係については、細かく説明していないため、ヘルメット着用の注意喚起に合わせて、指導したいと思う。

(学校警察連絡会長)

現在、ヘルメットの着用は努力義務となっているため、校則では定めていない。着用している生徒もいるが、ばらつきがある。大人が着用するのを見て、抵抗感がなくなればと思う。特に女子生徒が抵抗感を持っているようで、かぶっている生徒は男子生徒が多い。

(市長)

高校生は義務化しないと難しそう。

(湖西地区安全運転管理協会長)

歩道での自転車走行について、大人でも間違えている人が多く、小学生や高齢者だけでなく、中高生が知らずに歩道内を走行している。それについても指導してほしい。

(市長)

道路交通法では、危険を回避するためなら歩道を走行してもよい、ということになっているはずだが、まだ周知されていないよう。

(学校警察連絡会長)

おっしゃる通り周知が必要だと感じる。

(湖西署交通課長)

企業講話や交通教室などでお話をしている。先日、湖西高校と新居高校で自転車マナー推進リーダーの委嘱状を各クラス2名ほどに交付した。市長のおっしゃる通り、高校生には抵抗感があるようだが、昨年3月に磐田市で自転車に乗っていた高校生が亡くなる事故が発生した。中高生にも機会があるごとにお話ししていく。県警でも自転車の事故抑止に力を入れており、SNS等で発信をしている。静岡県は全国的に見てもヘルメットの着用率が低い。着用率が上がるようご協力をお願いしたい。

5 閉会